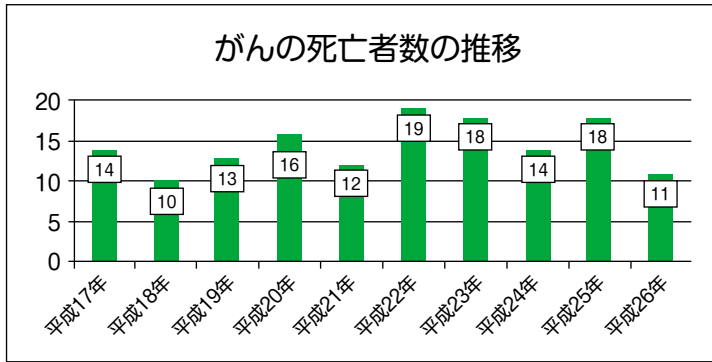


約2人に1人が発症!

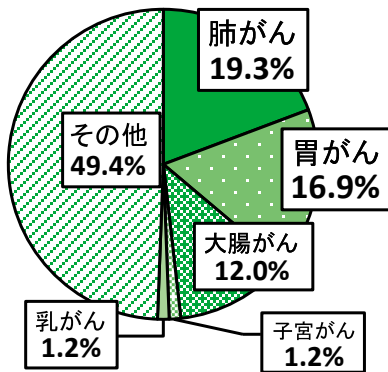
がんは身近な病気です

がんは日本人の死因の第1位であり、がんによる死亡者数は年々増加しています。また本村も同様の傾向にあり、死因全体の約1/4をがんが占めています。



本村でがんにより亡くなる人は過去10年で145人、年間約14人（10年間平均）となっています。

がん部位別死亡数（平成22～26年）



部位別にみると、「肺がん」が19.3%と最も高くなっており、次いで「胃がん」、「大腸がん」の順に死亡数が多くなっています。

がんの発症予防、早期発見・治療のためには、良い生活習慣を心がけること、定期的ながん検診を受けることが大切です。

がんにならないために心がけている人の増加	平成26年度	平成36年度目標値
	25.8%	50%

		平成26年度	平成36年度目標値
定期的ながん検診を受けている人の割合の向上	30～59歳	25.2%	60%
	60歳以上	44.7%	50%

（平成26年度 飛島村健康調査）

◎良い生活習慣を心がける

適正体重の維持、バランスのよい食事、運動、禁煙、適量飲酒など良い生活習慣を心がけることが、がんの発症予防につながります。

◎がん検診を受ける

初期のがんは自覚症状がほとんどありません。しかし早期発見・治療により治るがんも増えており、がん検診を受けることが欠かせません。またがん検診のみでは「がん」の確定診断はできません。検診結果が「要精密検査」となった場合は、必ず精密検査を受診しましょう。

◎4月末～5月初旬頃に本村で受けられる「健康診査案内」を配布します。詳細はそちらをご覧ください。